



ベトナム Weekly レポート

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページアドレス: http://www.news-sec.co.jp

(現金・株式) 配当、(無償・有償) 増資を通じて、利益還元積極的に銘柄 一株主への利益還元の厚い銘柄と外資出資比率との相関関係

前回、上場企業への外資出資規制の緩和政策と国営企業の民営化の推進政策について考えてみました。国営企業の民営化・上場は、グループ内の子会社や孫会社から行われる傾向があります。その結果、利益の多くは、配当を通じて、親会社に還流していきます。下の表は、直近1年間の現金配当額の高い銘柄、それを基にして計算した現金配当利回りの高い銘柄、1株当たり利益(EPS)に占める1株当たり配当(DPS)の低い銘柄をリストアップしています。

ただし、ホーチミン証券取引所に上場している全銘柄のなかで、流動性(出来高)の低い銘柄、直近株価(4月29日終値)が、額面の10,000ドンを割り込んでいる銘柄、直近1年間の現金配当の合計が1,000ドン以下の銘柄は除外しています。

除外された銘柄のなかにも、現金・株式配当の合計比率が高い、株主への利益還元が高い銘柄が多く見受けられるのですが、出来高が極めて少ないために、このレポートのなかでは紹介していません。

主要な高配当・高利回り銘柄 (対象:ホーチミン証券取引所上場銘柄)

配当金額が高い			現金配当利回りが高い			DPS/EPSの比率が低い		
ティッカー	銘柄	DPS	ティッカー	銘柄	利回り	ティッカー	銘柄	DPS/EPS
VNM	ビナムルク	4,600	FDC	ホーチミン市投資開発貿易	19.27%	VSC	ベトナムコンテナ	17.87%
DPM	ベトナム化学肥料	4,500	BHS	ビエンホア砂糖	15.89%	VDF	ビナカフェビエンホア	20.41%
NSC	中央種苗	4,175	DPM	ベトナム化学肥料	12.61%	CSM	南部ゴム産業(カシュミナ)	22.27%
DPR	ドンフーゴム	4,000	SBT	タインブルボン製糖	12.44%	FPT	FPT	25.61%
PGD	ベトナム低圧ガス販売	4,000	NHS	ニホア製糖	12.39%	DHG	ハウザン製菓	27.75%
FDC	ホーチミン市投資開発貿易	3,700	PGC	ベトナムガス	11.93%	LMB	リラマ18	29.44%
PNJ	フーニアン・ジュエリー	3,900	TDC	ピンズオン開発販売	11.28%	BMP	ビンミン・プラスチック	31.21%
PHR	フックホアゴム	3,000	PHR	フックホアゴム	11.19%	VNS	ビナサン	31.57%
TRC	タインゴム	3,000	PNJ	フーニアン・ジュエリー	10.45%	TRA	トラファコ製菓	31.97%
RAL	ランドン電球・魔法瓶	3,000	KHP	カインホア電力	10.23%	GL	ビンタイン輸出入貿易	32.57%
GAS	ベトナムガス	3,000	DPR	ドンフーゴム	10.10%	CTD	コテック建設	32.77%
CNG	ベトナムCNG	2,734	CTG	ベトナム産業貿易商業銀行	10.03%	FDC	ホーチミン市投資開発貿易	33.43%
BMP	ビンミン・プラスチック	2,538	PGD	ベトナム低圧ガス販売	9.02%	VPK	植物油容器	34.03%
DQC	ディエンクワン	2,500	BMI	バオミン保険	8.63%	DMC	ドメスコ医療輸出入	36.44%
HSG	ホアセン・グループ	2,500	TBC	タックバー水力発電	8.60%	PDN	ドンナイポート	36.68%
HRC	ホアビンゴム	2,500	TRC	タインゴム	8.41%	DRC	ダナン・ゴム	36.88%
DHG	ハウザン製菓	2,500	BCI	ビンチャン建設投資	8.33%	GMC	サイゴン縫製貿易	37.31%
OPC	OPC製菓	2,200	BTP	バリア火力発電	7.35%	SSC	南部種苗	37.99%
HPG	ホアファットグループ	2,174	DQC	ディエンクワン	7.35%	TRC	タインゴム	38.01%
SSC	南部種苗	2,000	CNG	ベトナムCNG	7.08%	NHS	ニホア製糖	38.96%

(ブルームバークのデータを基に弊社作成、配当利回りの計算に用いた直近株価は、5月8日終値、DPSは直近12ヶ月間の現金配当の合計)

(対象は、ホーチミン証券取引所上場銘柄、但し流動性の低い銘柄、直近株価が10,000ドン以下、現金配当が1,000ドン以下、DPS/EPSの比率が70%以上の銘柄を除く)

この2年間、折に触れて、高配当・高利回り銘柄を紹介してまいりました。VN指数の上昇により、個別銘柄の株価も上げており、全体的に現金配当利回りは低下傾向となっていました。南シナ海の西沙(パラセル)諸島で、中国とベトナムの船舶が衝突したことから、ブルーチップ株も含めて、株式市場全体が下落したことにより、現金配当利回りが上昇しています。

配当金が高い業種をみてみますと、天然ゴム、タイヤ、港湾、製菓などの業界の配当が相対的に高くなっています。これを、グループ企業の純利益の多くを、配当として吸い上げている親会社の国営企業

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン))、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ベトナム Weekly レポート

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

に焦点を当ててみてみますと、配当の高いゴム会社、ドンフーゴム (DPR)、フオッホアゴム (PHR)、タイニンゴム (TRC) などの親会社は、ベトナムゴム工業です。

タイヤメーカーの、南部ゴム (カシュミナ、CSM)、ダナンゴム (DRC) の親会社は、国営ベトナム化学グループです。

また、流動性が低い等の除外条件が適用されたために、前述のリストには載っていませんが、ビンズオン省政府傘下の国営企業を親会社としている、ベカメックス IJC (IJC) の兄弟会社、ベカメックス・コンクリート (ACC)、ビンズオン交通建設 (BCE)、ビンズオン開発販売 (TDC) も、親会社に利益の半分以上を、配当として還元しています。これら3社の配当利回りは、10%を超えています。

もうひとつ、親会社の持株比率が高く、純利益に占める配当比率が大きい顕著な例を挙げてみます。それは、ホーチミン証券取引所で最も時価総額の大きい、ペトロベトナム・ガス (GAS) です。親会社のペトロベトナム・グループは、GAS 株式の 96.72% を保有しています。2013 年の年次株主総会において、2013 年の純利益の 65% を配当に振り分けることが議決されています。年次株主総会では、2014 年の事業計画案も承認されています。現金配当の目標は、2014 年の純利益の 75% を配分する計画となっています。今年に入り、国営企業改革の一環として、グループ企業に対する国営企業の持株比率の上限は、政府が承認した特例を除き、65% までとする政令が発表されています。この政令により、将来は、高配当、高配当利回りの銘柄が減少する可能性もあると思われます。

さて、先月後半から今月にかけて、ベトナム上場企業の年次株主総会の開催が、そのピークを迎えています。総会の議決に沿って、各社の配当スケジュールも数多く発表されています。

そのなかで、好業績かつ株主への利益還元率が高く、外国人投資家に人気のあるブルーチップ株を、下の表にまとめてみました。すべての会社で、2013 年度の純利益に対する配当政策が、株主総会で承認されています。そのなかで、今後、発表される予定の配当を取得できる可能性が残っている銘柄は、表の背景が薄緑色になっている銘柄です。

各社の株主総会で議決された主要なブルーチップ株の配当予定及び実績

ティッカー	銘柄	2013年度配当予定および実績				2012年度配当実績	
		株主総会	現金配当合計	株式配当	権利落ち日	現金配当	株式配当
FCN	FECON地下工事・基礎技術	3月17日	1,000	10%	4月2日、23日	1,000	20%
FPT	FPTコーポレーション	3月29日	3,000 (1,500)	25%	5月7日	2,000	-
HPG	ホアファットグループ	4月2日	1,500	15%	4月24日	1,000	-
DPM	ペトロベトナム化学肥料	4月15日	5,000 (2,500)	-	5月16日	3,000	-
GAS	ペトロベトナム・ガス	4月17日	4,200 (2,200)	-	5月12日、未発表	3,000	-
TRC	タイニンゴム	4月18日	3,000	-	未発表	3,500	-
PVD	ペトロベトナム・ドリリング	4月21日	2,000	10%	未発表	1,000	10%
DRC	ダナンゴム	4月23日	2,000	-	未発表	2,000	20%
BMP	ビン・ミン・プラスチック	4月24日	2,000	-	5月15日	3,000	30%
CSM	南部ゴム (カシュミナ)	4月25日	2,900	-	未発表	1,500	15%
DPR	ドンフーゴム	4月25日	4,000 (1,500)	-	4月21日、未発表	4,000	-
VNM	ビナムミルク	4月25日	4,800 (2,000)	20%	5月13日、未発表	2,800	-
DHG	ハウザン製菓	4月28日	3000 (1,500)	33%	未発表	2,500	-
HSG	ホアセングループ	4月28日	2,500 (1,000)	-	5月21日、未発表	3,500	-

(データはブルームバーグ、ホーチミン証券取引所及び各社のウェブページのデータに基づいて弊社作成)

(2013年度の配当予定のうち、○で示された配当の権利落ち日は表中に示されています。権利落ち日に未発表とあるのは、未実施の配当があることを示しています)

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ペトロベトナム化学肥料 (DPM) は、2013 年度の純利益のうち、現金配当として、5,000 ドン/株を支払うことを議決しました。その議決に沿って、2,500 ドン/株の支払いスケジュールが発表されました。権利落ち日は、5 月 16 日、支払日は、6 月 13 日の予定です。2013 年度の現金配当に対する配当利回りは、15.5%と高利回りになっています。2014 年度の現金配当目標は、2,500 ドン/株となっています。

ペトロベトナムガス (GAS) は、2013 年度の現金配当として、4,200 ドン/株を支払う予定です。まず、2,200 ドンの配当が、6 月 4 日に行われる予定です。その権利落ち日は、5 月 12 日です。残りの 2,000 ドンに関しては、具体的なスケジュールが発表されていません。2014 年度の現金配当目標は 3,300 ドン/株となっています。

タイニンゴム (TRC) は、年次株主総会で、2013 年度の純利益処分として、3,000 ドン/株の現金配当を行うことが議決されています。実施時期については、まだ決まっています。2014 年度の現金配当目標は、2013 年度と同じ 3,000 ドン/株となっています。

ペトロベトナム・ドリリング (PVD) は、年次株主総会で、3,000 ドン/株の現金配当と 10%の株式配当を行うことが議決されています。実施時期については、まだ発表されていません。

ダナンゴム (DRC) は、年次株主総会で、2,000 ドン/株の現金配当を行うことが承認されています。その実施時期については、まだ明らかにされていません。

ビン・ミン・プラスチック (BMP) は、2013 年度の現金配当として、2,000 ドン/株が支払われます。支払予定日は、6 月 9 日、その権利落ち日は、5 月 15 日です。

南部ゴム (カシュミナ、CSM) は、2013 年度の現金配当として、2,300 ドン/株の現金配当を行うことが議決されています。実施スケジュールに関しては、未発表です。

ドンフーゴム (DPR) は、2013 年度の現金配当として、4,000 ドン/株を支払う予定です。4 月 10 日、1,500 ドンの支払い日程が発表されました。権利落ち日は、4 月 21 日、支払日は、5 月 9 日の予定です。残りの 2,500 ドンのスケジュールは未定です。2014 年度の現金配当目標は、3,000 ドン/株の計画です。

ビナムルク (VNM) は、2013 年度の現金配当を、当初計画の 3,400 ドン/株から 4,800 ドン/株に引き上げました。総額 4,800 ドンのうち、2,800 ドンは既に配当されており、今回、5 月 13 日に権利落ちとなる 2,000 ドンは、5 月 30 日に支払われる予定です。2013 年度の利益処分案のなかで、20%の株式配当を行うことが、株主総会で承認されています。その実施時期については発表になっていません。2013 年の純利益に対する配当への振り分けは、65%でしたが、2014 年の事業計画では、利益の 75%を配当に振り分ける予定です。

ハウザン製菓 (DHG) は、3,000 ドン/株の現金配当と、3 株に対して 1 株を割り当てる株式配当を行うことが、年次株主総会で議決されています。1,500 ドンの現金配当については、昨年 8 月に支払われています。残り 1,500 ドンの現金配当と株式配当の実施時期については、まだ発表されていません。2014 年の事業計画では、2014 年度の現金配当目標は 2,500 ドン/株となっています。

ホアセン・グループ (HSG) は、2013 年度の現金配当として、2,500 ドン/株を支払う予定です。うち、

ニューズ証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ベトナム Weekly レポート

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-411-965
ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

1,000 ドンの配当の支払いスケジュールは、5月21日が権利落ち日、6月26日が支払予定日となっています。残りの1,500 ドンの支払いに関しては、支払い日程が決まっています。

株式投資を行う際の個々の投資基準は、数多く存在します。今回、紹介いたしました銘柄は、高配当・高配当利回り銘柄として、ここ数年間、スクリーニングで選出されることの多い銘柄です。

年末・年始には各年度の業績が具体的にみえてきます。これらの銘柄は、好業績ならば、高配当を期待できる可能性が高まってきます。3月になれば、年度決算の発表と年次株主総会の議案と日程が発表されます。今期の配当と来期の配当目標も明らかになってきます。そして、4月から6月にかけて、多くのベトナム企業で配当が実施されます。

中長期投資で、配当など着実なインカム・ゲインを得ることを投資基準としている株式投資家にとっては、決算発表、年次株主総会、取締役会による配当の執行、この一連の流れの中で、投資機会を探すことも、有力な投資手段のひとつと私は考えています。

海外株調査室 小畑 直樹

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。